

委託番号	
業務委託名	
契約金額	
請負者名	
代表者役職	
代表者名	
契約年月日	
完成期限	
完成年月日	
検査依頼日	
監督員氏名	
主管課長氏名	
検査員氏名	
検査年月日	
検査報告日	

	監督員入力箇所
	主管課長入力箇所
	検査員入力箇所

※ 日付の入力は 04/5/23 のように半角数字で入力する。

設計業務 成績採点の考査項目別運用表

別紙4-1

項目	細別	監督員		主管課長		合計
		加点要素	減点要素	加点	減点	
業務の実施計画段階	業務の理解	1 設計業務の目的と内容を十分理解・把握していた。	1 設計業務の目的と内容についての理解・把握が不十分であった。	3	3	当該項目を総合的に判断して、評価する。ただし、採点可能範囲は±3点(4~10) X=(4)-⑤ ⑥=X+65*0.1+0.5点
	事前準備	1 既往調査文献の参照等事前準備として資料整備や十分な現地調査を行った。	1 既往調査文献の参照等事前準備としての調査や資料整備が不十分であった。			
		1 設計業務の目的に照らし、現地調査を十分行った。	1 設計業務の目的に照らし、現地調査が不十分。			
	打合せ協議	1 設計業務実施計画書等に関する当初の打合せにおいて、疑義についての質問、有益な提案を行う等積極的な取組みが見られた。	1 設計業務実施計画書等に関する当初の打合せにおいて、疑問等についての質問等の取組みに積極性が見られない。			
	設計業務実施計画書	2 解析手法等の技術的な内容が適切、かつ、十分なものとなっており、これに基づき適切な実施手順、工程計画となっていた。	2 解析手法等の技術的な内容が不適切、かつ、不十分であって、実施手順、工程計画の設定に適切さを欠いた。			
		1 実務実施体制(人数、担当者の技術能力等)を適切に設定していた。	1 実務実施体制(人数、担当者の技術能力等)の設定が不適切であった。			
細目別評定点	① 0 /7	② 0 /7	③ 13 /20	④ 0 /0	⑤ 0 /10	⑦ 20 /30
業務の遂行段階	打合せ協議	1 打合せの時期、内容が適切であった。	1 打合せの時期、内容が不適切であった。	4	4	当該項目を総合的に判断して、評価する。ただし、採点可能範囲は±4点(2~10) X=(4)-⑤ ⑥=X+65*0.1-0.5点
		1 発注者との密接な連絡の実施、疑義についての質問を行う等積極的な取組みが見られた。	1 発注者との密接な連絡の実施、疑義についての質問を行う等取組みに積極性が見られなかった。			
	2 指示、協議事項を正確に理解し、適切な打合せ記録を作成した。	2 指示、協議事項の理解が正確性に欠け、打合せ記録の作成が不適切である。				
	工程管理	2 当初の工程管理や指示事項等を踏まえ、適切な工程管理を行い、所要の工期に余裕をもって業務を完成させた。	2 工程管理が不適切で、所要の工期ぎりぎりで行った。			
		2 ミスや手戻り、外部機関等のトラブルがほとんど無かった。	2 ミスや手戻り、外部機関等のトラブルが多かった。			
	照査	2 チェックリストの作成、チェック責任者の明示等厳格な照査を実施した。	2 チェックリストの作成、チェック責任者の明示等の照査内容があいまいであった。			
	技術力	2 当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応において、十分な技術力を有していた。	2 当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応において、技術力が不十分であった。			
目的の達成度	2 初期の目的に照らし、満足できる優れた成果をあげた。	2 初期の目的に照らし成果のレベルが不満足であった。				
細目別評定点	① 0 /14	② 0 /14	③ 26 /40	④ 0 /0	⑤ 6 /10	⑦ 32 /50
成果品	とりまとめ	1 分かりやすく簡潔な表現となっている。	1 分かりやすさ及び簡潔さも不十分である。	2	2	当該項目を総合的に判断して、評価する。ただし、採点可能範囲は±2点
		2 業務遂行段階での指示事項等も含め検討成果を的確にとりまとめている。	2 業務遂行段階での指示事項等も含め検討成果のとりまとめに確実性が欠けている。			
		2 図表等の表現の工夫により、内容を理解しやすかつ使いやすくなる努力が見られた。	2 図表等の表現の工夫により、内容を理解しやすかつ使いやすくなる努力が全く見られない。			
細目別評定点	① 0 /5	② 0 /5	③ 13 /18	④ 0 /0	⑤ 0 /2	⑦ 13 /20
評定点						65 /100